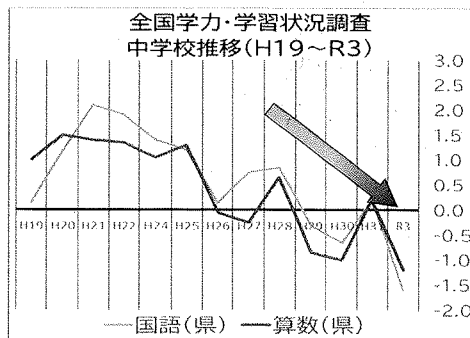
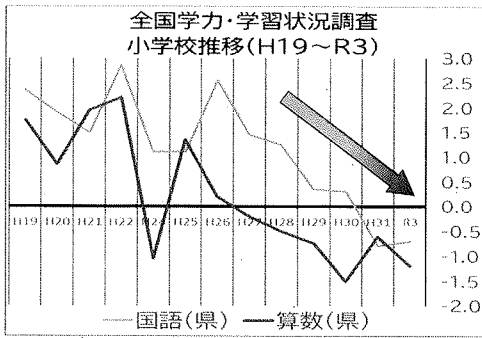


本県の学力の現状

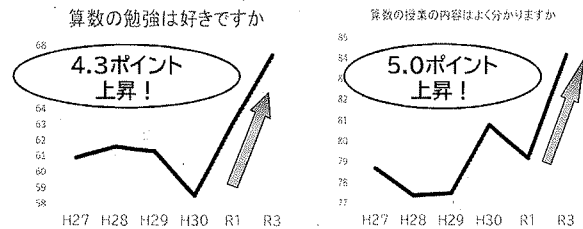
資料 2-2

★全国学力・学習状況調査・教科調査の平均正答率の年次推移



令和3年度	小学校国語	小学校算数	中学校国語	中学校数学
本県(公立)	64	69	63	56
全国(公立)	64.7	70.2	64.6	57.2

★全国学力・学習状況調査・質問紙調査の概要



★全国学力・学習状況調査から見た鳥取県の現状

- ・「小学校算数」及び「中学校国語」・「中学校数学」は全国平均を1ポイント以上下回る
- ・小学校算数に関わる調査項目の肯定的回答率が大きく上昇した
- ・小学校・中学校とも、全国平均と比較すると、経年で低下傾向にある

本県の学力の課題

★全国学力・学習状況調査の問題形式別平均正答率

	小学校国語		小学校算数	
	知識・技能	思考・判断・表現	知識・技能	思考・判断・表現
本県(公立)	71.7	57.9	73.2	63.0
全国(公立)	68.3	62.1	74.1	65.1
全国(公立)との差	3.4	-4.2	-0.9	-2.1

「思考力・判断力・表現力」
⇒予測不能で変化の激しい社会の中で、自ら課題を見つけ、既得の知識を関連付けて解決策を考えることができる力

今求められる学力

※中学校に関しては、評価の観点異なるため、掲載しない

★全国学力・学習状況調査・学校質問紙調査の回答から ※肯定的回答の全国平均との差

鳥取県小学校(全国との差)	-11.5	-9.8	-15.6	-8.1	-14.6
鳥取県中学校(全国との差)	-8.1	-7.6	-19.1	-17.6	-17.9
学習指導要領で定められている取組	言語活動について、学校全体で取り組んでいるか。	習得・活用及び探究の学習過程を見通した授業改善をしたか。	身につけた事を様々な課題の解決に生かす機会を設けたか。	知識を相互に関連付けたり、解決策を考えたりする学習を取り入れたか。	調べたことや考えたことを800字程度でまとめさせたことがあるか。

★見えてきた課題

- ・鳥取県の子どもは、これからの社会を生きる上で必要な「今求められる学力」が十分身に付いていない
- ・学校では、「今求められる学力」を児童生徒に付けるための授業改善が全国より進んでいない

⇒未来を生きる子どもたちに「今求められる学力」を付けるために、学力向上に向けた方向性を県と市町村が共有し、全県で取り組む必要がある

とっとり学力・学習状況調査

「今求められる学力」をすべての児童生徒に身に付けさせるためには、平均点だけでは見取れない個別の学力の伸びや学習状況を把握することが必要であり、とっとり学力・学習状況調査によって把握した状況を基に一人一人の児童生徒を確実に伸ばしていく教育を進める必要がある

〇とっとり学力・学習状況調査導入のねらい

- 〇児童生徒一人ひとりの「学力の伸び」と「学力を支える力(学習意欲や自制心、計画的に学習を進める力等)」の変化を経年で継続的に把握する
- 〇児童生徒の学力の伸び率等から、学級や学校単位での指導の成果と課題を分析し、改善につなげる
- ☆個別の「伸び」を丁寧に見取れる調査 ☆学級・学校経営に活用できる調査

〇とっとり学力・学習状況調査で見えるもの



「学力」や「学力を支える力」を可視化

とっとり学力・学習状況調査の特長

問題ごとに難易度を設定した学力調査を継続して実施することにより、子ども一人一人の学力の伸びを把握し、指導に生かすことができます。

		小4	小5	小6	中1	中2
高 難 易 度 低	レベル12					
	レベル11					
	レベル10					
	レベル9					
	レベル8					
	レベル7					
	レベル6					
	レベル5					
	レベル4					
	レベル3					
	レベル2					
	レベル1					

学年ごとの難易度の設定

- 〇個別の「学力レベル」が見える
- 〇個別の「学力の伸び」が見える
- 〇個別の「学力を支える力」の状況が見える
- 〇「学力の伸び」と「学力を支える力」を関連付けて見える

個別の児童生徒の5年間(小4～中2)の伸びを継続して把握し、個別最適化した学習につなげる



鳥取県独自のデータに基づく個に寄り添った指導・支援ができる

〇全数で12のレベルがあります。(各学年で測定可能なレベルは7レベル)
 〇1つのレベルをさらに3層(A～C)に分けています。

鳥取県の学力向上に向けた方向性

全県的な課題や授業改善の方向性が分かる「全国学力・学習状況調査」と、児童生徒一人一人の伸びを把握し個に寄り添った指導に生かせる「とっとり学力・学習状況調査」を学力向上のための両輪として、「今求められる学力」を付ける授業改善を全県で推進する。

1 「今求められている学力」に向けた授業改善

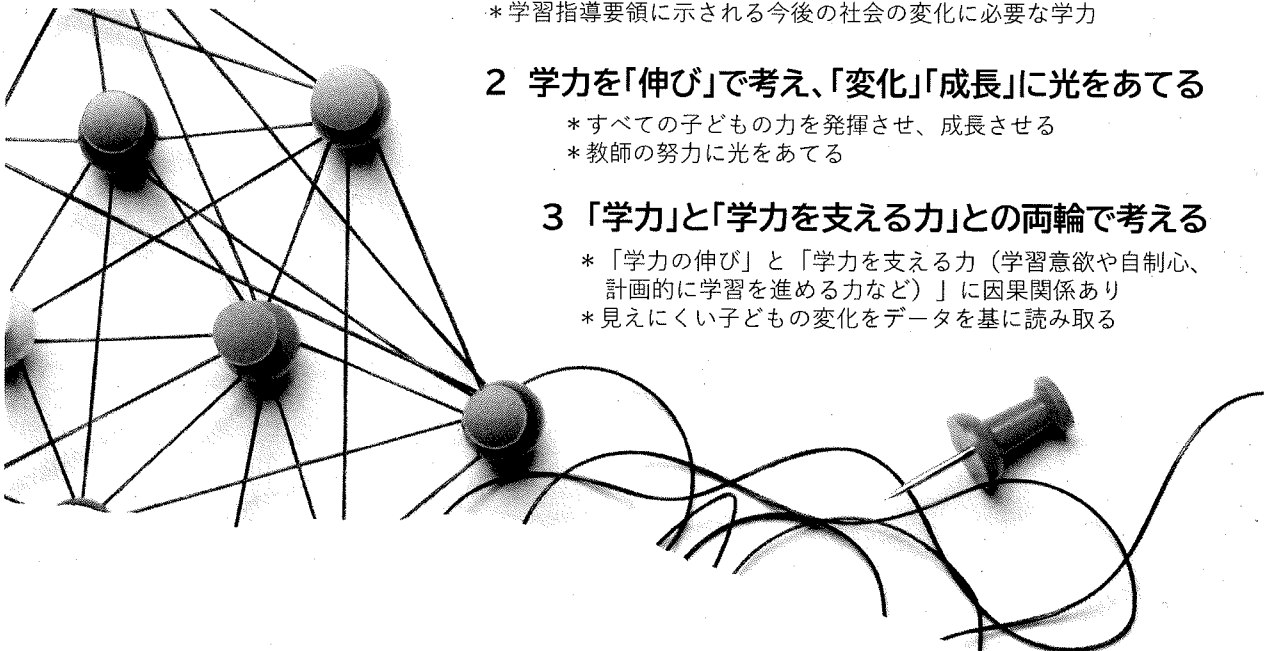
* 学習指導要領に示される今後の社会の変化に必要な学力

2 学力を「伸び」で考え、「変化」「成長」に光をあてる

- * すべての子どもの力を発揮させ、成長させる
- * 教師の努力に光をあてる

3 「学力」と「学力を支える力」との両輪で考える

- * 「学力の伸び」と「学力を支える力(学習意欲や自制心、計画的に学習を進める力など)」に因果関係あり
- * 見えにくい子どもの変化をデータを基に読み取る



鳥取県における学力向上について市町村と課題を共有し、市町村と鳥取県が協働し、課題解決に向けて具体的な取組を検討・実行することで、全县一体となって学力向上を強力に推進する。

